

(第4版 20220116)

令和3年度全国高等学校総合体育大会
第71回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会

スピードスケート競技 監督会議



スローガン

“ 我らの思い 氷都とともに 奮い立て ”

日 時 令和4年1月17日(月) 12:30

場 所 八戸市スポーツ研修センター 2階 「第1会議室」

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 レフェリー挨拶
- 4 役員紹介
- 5 確認事項
 - (1) 競技について
 - (2) 競技日程について
 - (3) プログラムの訂正及び出場選手の変更について
- 事務局より
 - (1) 表彰について
 - (2) 会場について
 - (3) 開始式・閉会式について
 - (4) 駐車場について
 - (5) リザルトについて
 - (6) 食事について
 - (7) その他
- 6 その他
- 7 閉 会

確認事項

1 競技について

(1) 競技規則

- ① ISU 規則、日本スケート連盟競技規則、並びに大会要項に沿う。
- ② トラックは内径 26m の 400m 標準ダブルトラック C タイプ。
- ③ 1000m 以上の種目はカルテットスタートを採用。
- ④ 計時システムについて
最終公式タイム・・・フォトフィニッシュ
速報タイム・・・チームパシュート以外：オプティカル（フォトセル）システム、
チームパシュート：半自動計時
バックアップ・・・手動計時
- ⑤ 氷上のコーチングは各距離 1 名。チームパシュートは 2 名。リレーは認めない。

(2) 出場選手の召集について

- ① 召集は、競技開始 10 分前を目処にスタート近くで実施。
腕章は、各選手が準備（召集場所には準備しない）。
安全装具の確認はスケート脱着場所で実施。
- ② アナウンスは競技開始 5 分前・2 分前。選手の呼び出しは前レースゴール 200m 前。

(3) その他

- ① 開場時間は 4 日間とも午前 7 時。
全面整氷実施時、全員氷から上がる。インレーンのブロック設置後、アップレーンでの滑走を認める。
- ② コーチの出入りはクロッシングレーン側に 2 カ所。
(監督・コーチも観戦は 2 階観覧席で) 中地での陸上トレーニング指導を認めない。
- ③ 競技中のアップレーンでの集団滑走（3 名以上の列）禁止。
- ④ 公式練習・ウォームアップ中、6 名以上の列での滑走禁止。
- ⑤ 競技中のアップレーンの滑走は、当該距離出場選手のみ。

2 競技日程について

(1) 競技日程

- ① 競技進行は、タイムテーブルに従う。但し、遅れが生じた場合はアナウンスで通知。
競技会中の整氷時間は、コース整氷が 15 分、全面整氷が 20 分。

3 プログラムの訂正及び出場選手の変更について

- (1) プログラム中の誤字脱字の訂正・選手変更・棄権の報告は所定の用紙に記入の上、記録室に提出。
または、本会議終了後、事務局へ提出。
- (2) 選手変更（補欠起用）は、競技開始予定時刻の 1 時間前まで。
- (3) 2000m リレー、チームパシュートのオーダー用紙は 1 月 20 日（木）12 時までに記録室に提出。その後の選手変更は、競技開始予定時刻の 1 時間前までに、改めてオーダー表を提出。

4 質疑応答

事務局より

1 表彰について

- (1) プログラム記載の競技日程通り実施。変更がある場合はアナウンスする。
- (2) 表彰はメダル授与のみとし、リンク中地フィニッシングレーン側で実施。各距離 1 位から 3 位までに入賞された選手。

2 会場について

- (1) 開場は 7 時。公式練習終了後 30 分後に退出完了。
アリーナの出入りは 2 階から。1 階は競技役員、報道関係者、大会運営スタッフ。
館内のゴミ箱は使用しない。ゴミ等は、各校の責任でゴミ袋等にまとめてコンテナに。
- (2) 待機場所（控室）は 2 階観覧席。
車いす観覧席をストレッチ会場とする（毛布・マットは使用時のみ敷いてよい）。
観覧席に毛布等を置いて帰らない（置いてあった毛布等はゴミとして扱う）。
更衣室は 1 階小会議室。
更衣室使用时、出入口にあるマグネットを各自が移動（在室⇄退室）。
更衣室にものを置かない（置いてあったものは拾得物として扱う）。
ウォームアップはリンク中地及び第 2 カーブ外側走路。
（ただし、朝 9 時まではリンクサイド走路の周回利用を認める。）
（リンク中地および、走路での観戦・応援禁止、ビデオ撮影等は 2 階で）
- (3) バイク、エルゴメーター等は所定の場所に。
リンク備え付けのスピンバイク 10 台、ワットバイク 10 台は譲り合って使用。
- (4) 敷地内禁煙。（喫煙場所はありません。駐車場の車中も禁止です。敷地の外へ行ってください。）

3 開始式・閉会式について

- (1) 開始式は、この後 Y S アリーナ八戸リンク中地で実施。
参列は優勝杯返還者、選手宣誓者及び青森県旗手のみ。見学は 2 階観覧席から。
- (2) 閉会式は 1 月 21 日（金）競技終了後（14:00 予定）リンク中地で実施。
参列は優勝校生徒（人数制限なし）、2 位から 6 位校各 1 名。見学は 2 階観覧席から。

4 駐車場について

- (1) アリーナの駐車場を利用。体育館の駐車場は駐車禁止。
大型車専用のエリアは大型車専用（自称大型車の駐車禁止）。
- (2) タクシー乗り場はアリーナ北側の駐車場出入口付近。

5 リザルトについて

- (1) チームに向けてリザルトの掲示はしない。配付もしない。
大会ホームページ・SEIKOスポーツリンクを。

6 食事について

- (1) 注文した弁当は2階受付付近で学校単位に配付（引換券なしでも、確認できればOK）。
- (2) 観覧席での食事を認める。但し、感染防止策を徹底し、孤食・黙食に努める。
リンク中地およびリンクサイドは不可。（監督・コーチも食事の際は観覧席へ）
- (3) 2階にあるカフェは営業予定。

7 その他

- (1) 「インハイ t v」による配信有り。
- (2) 大会期間中随時、高校生活動の一環として、八戸東高校書道部のパフォーマンスを大型ビジョンで放映。
- (3) リレーの召集方法
 - ①腕章は、4人が同じ色（白又は赤）を右腕に。バトンは各校準備。
 - ②スケートの脱着は、フィニッシュレーン側の指定されたベンチで行い、**競技役員**の指示に従い、上着等をベンチにおいて、氷に上がり、速やかに自スタート位置に移動する。
 - ③競技中は、当該組のみの滑走とし、競技終了後は、速やかに氷から上がる。
（バトンを渡した後、フィニッシュライン前を通過しないように努める）
 - ④**リンクサイドでの合図のために人員を配置することは認めない。監督コーチもコーチエリア以外でのコーチングを認めない。**
- (4) チームバシュートレースの召集方法
 - ①腕章は、3人がそれぞれ異なる色（白、赤、黄）を両腕に。
 - ②スケートの脱着は、自スタート位置側の指定されたベンチで行い、競技役員指示に従い、上着等をベンチにおいて、氷に上がり、速やかにスタートラインにつく。
 - ③競技中は、当該組のみの滑走とし、競技終了後は、速やかに氷から上がる。
（フィニッシュ後、1周で上がる）
 - ④**氷上コーチは前組フィニッシュ後にコーチ出入り口から入る。**
- (5) 応援横断幕の掲出
 - ①選手個人の名前の掲出は認めない。
 - ②観覧席手すりにひも等で結びつけてよい。（粘着テープ禁止）
この場合、アリーナスポンサーの広告に掛からないようにすること。
（観覧席のゲストエリア、プレスエリアへは**朝9時まで**は入ることができる。）
 - ③コーチングエリア以外の防護マットへの貼付を認める。（粘着テープ禁止）
この場合、掲出物の裏上下にマジックテープ（オス）が加工してあること。
また、大会スポンサーの広告に掛からないようにすること。
 - ④横断幕の掲出は開始式終了後から可能。大会期間中剥がす必要はない。
- (6) 感染症対策
 - ①マスク着用の徹底。選手は氷上以外着用。他は常時着用。
 - ②消毒の徹底。至る所に置いてある消毒液を活用。
 - ③ディスタンスの徹底。むやみに人とくっつかない。（特にリンクサイドの監督）

災害発生時の対応について

【大きな地震などの災害発生時の基本的な対処要領】

- ① 競技を中断し、各自、身を守る行動をとる。
- ② 避難が必要な場合は、スタッフ（スケート場職員）の指示に従い落ち着いて行動する。（火災発生時も同様です。）

【競技役員、代表者の皆様に依頼する事項】

- 「大きな地震」や「弾道ミサイル対処」に際しては、館内の皆様には、直ちに身を守る行動をとっていただく必要があります。
緊急地震速報や、Jアラートの発表があった場合は、全館放送により注意喚起を図ります。競技役員、代表者の皆様からも、選手等に対し、
「落ち着いて。」 「頭上注意。」 「窓ガラスから離れる。」 「頭を守る。」
等の身を守る行動をとるよう、ご自身の安全を確保した上で、声掛けとともにその補助をお願いします。
- 揺れが収まった後、避難が必要な場合はスケート場職員と連携して
非常口の開放、いすや机など通路の障害物の除去（移動）、避難の補助等
へのご協力をお願いいたします。

避難経路図及び誘導要領

